

NSF免震エキスパンションジョイントカバー

安全上のご注意

万一の非常時に備え、使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明



警告

この表示を実行しない場合、重大な傷害、または死亡事故を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が負傷する可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。



お願い

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。



この記号はやってはいけないことを告げるものです。

ご利用にあたって

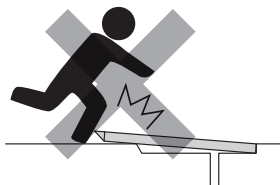


警告



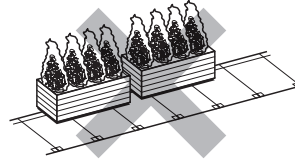
地震時にはエキスパンションジョイントカバーから離れてください。

地震の際には可動することにより、カバー面が上下し、段差が生じます。地震時にはカバーから離れて、安全な場所に避難してください。



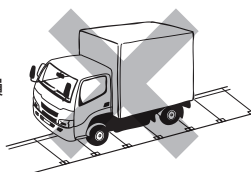
可動範囲に物を置かないでください。

地震時のゆれに応じて可動する構造になっています。可動範囲内には障害となる物を置かないでください。またカバーの上に物を置くと、転倒して危険です。



設計条件を超える荷重を加えないでください。

設計時の条件を超える荷重がかかると、破損や変形を招き、事故を起こす場合があります。



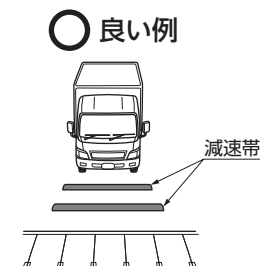
破損・変形した製品を発見した場合。

何らかの原因で破損や変形した製品は、強度が著しく低下しており、事故を引き起こすおそれがありますので、管理会社に相談し、修理・交換を行ってください。

特に下記のような使用環境は、製品が破損・変形する場合がありますので必ず守ってください。

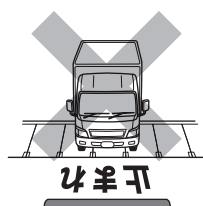
❌ 速い速度で通過しない

本製品は車両が徐行して通過すること想定した設計となっています。速度の出やすい場所に設置する際は、手前に減速帯を設けるなどの速度抑制措置を施してください。



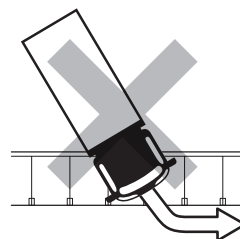
❌ 製品上で減速・停止しない

急制動は製品に過度な荷重を与えるため、破損・変形のおそれがあります。本製品上では車両の減速や停止は避けてください。



❌ 製品上で回転しない

本製品は車両が直進して通過すること想定した設計となっています。製品上でハンドル操作を行うと、製品に過度な負荷を与え、製品の破損・変形の原因となりますので、製品上でハンドル操作は行わないでください。



注意

加工を行わないでください。

切断、穴あけ、切削、変形、塗装などの加工を行わないでください。製品強度の低下や錆の発生、作動不良の原因となる場合があります。

もらい錆びに注意してください。

ステンレスは錆びない金属ではありません。環境によっては錆が発生する事があります。空気中や水道水に含まれる鉄分がステンレスに付着して発生する「もらい錆び」という現象がありますのでご注意ください。

すき間に指を入れないでください。

すき間などに指を入れると、ケガをするおそれがあります。すき間に指を入れないでください。

清掃上の注意点

タイル等を酸素系(次亜塩素酸ソーダ)の洗浄液で清掃する場合、金属製品(ステンレス品、スチール亜鉛めっき品、スチール塗装品)の錆の発生を防ぐため、金属製品を確実に養生するか、清掃後十分水洗いを行ってください。

取付・取外しは専門業者に依頼してください。

清掃や交換などのメンテナンスが必要な場合は、専門業者に依頼してください。取付方法を誤ると、破損や変形、ガタツキを招き、事故を引き起こすおそれがあります。

安全にご利用いただくために

耐食性の処理を施しておりますが、使用状況や環境により錆びなどが発生し、本来の性能を満たさないおそれがあります。
安全に長期間ご利用いただくためにも、定期的なメンテナンスや点検を行ってください。

■点検の種類と内容 一般社団法人 日本免震構造協会より抜粋

点検の種類	点検時期	点検内容
竣工時検査	竣工時	正しく施工され、作動に支障がないか確認する。
定期点検 1	1年に1回程度 (状況に応じて関係者協議により簡略化、省略可)	異常の早期発見と事故の防止を図るために、製品やその使用状況を確認する。 日常的变化または経年変化に起因する異常がないか調べる。
定期点検 2	竣工5年後、10年後、以降10年毎に実施	
応急点検	大地震や台風・火災・洪水などの災害発生直後	大地震や台風・火災・洪水などの災害を受けた直後、速やかに製品への影響の有無を確認する。
詳細点検	定期点検や応急点検で異常が発見された時	異常が発見された箇所の原因究明を行う。

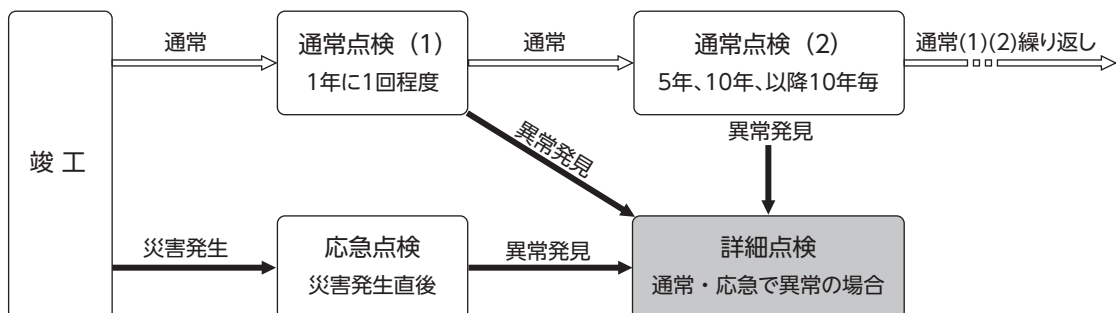
■点検項目と点検時期 一般社団法人 日本免震構造協会より抜粋

点検内容	点検項目	点検方法	判定基準	点検時期			
				施工時	定期(1)	定期(2)	応急
可動状況	障害物の有無	目視	可動域に障害物がない。	○	○	○	○
環境・劣化状況	作動機構	目視※	機構、作動上問題ない。	○		○※	○※
	仕上材・シール	目視	有害な劣化がない。		○	○	○
	鋼材の発錆	目視	著しい赤錆、浮錆がない。	○	○	○	
	取付部の躯体状況	目視	亀裂などがない。	○	○	○	○
	残留変位	目視	有害な変形がない。	○			○

【作動機構】

変状(たわみ、ひずみなど)、ボルト・ナット類の取付状況などを確認(※)は状況や必要に応じて点検する。
劣化が進みそうな部位においては、異常の早期発見のために打診による検査を行い、必要に応じて仕上材を外して機構を確認するなど、機能の要となる部分を点検することが望ましい。

■点検フロー



お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

ナカ工業株式会社 URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノタタル株式会社 URL <https://www.naka-techno.co.jp>



左の QR コードを
読み取りアクセス
してください。